

陸上競技専門部 普及

陸 上 競 技 専 門 部
川口市立川口総合高等学校 野川 義則

1. 現状

①登録人数（日本陸上競技連盟登録数より）

	男子 登録人数	女子 登録人数	合計 登録人数
2010年	3,240	1,533	4,773
2011年	3,187	1,549	4,736
2012年	3,578	1,688	5,266
2013年	3,630	1,717	5,347

②考察

2010年からの4年間では男女合計の登録人数は増加している。2014年も最終的には2013年とほぼ変わらない登録人数になりそうである。男女の内訳では、男子2に対して女子が1の割合であり、この比率はほぼ毎年変化はない。

2. 活動内容

①高体連

各学校の部活動において、中学校での陸上競技経験者を中心とした勧誘活動や未経験者を中心とした新体力テスト結果を活用した勧誘活動など様々な取り組みを実践している。特に投擲種目は高校から実施する種目（円盤投、やり投、ハンマー投）があるので、体の大きな生徒を中心に運動部経験者への勧誘活動も功を奏している。

その他、陸上競技を専門にしている顧問も減少している現状があることから、学校間での合同練習や合宿など行っているところが多い。指導者講習会を強化部中心に毎年実施し、指導者の資質の向上にも取り組んでいる。

②埼玉陸上競技協会

「彩の国指導者競技者育成プログラム2020」事業において、強化指定制度を活用し、小学生からシニアまで一貫した指導を取り入れている。強化指定選手を通して選手のモチベーションを高め、更に上のステージでの意欲を高めることに成功している。

3. 今後の課題

数は力であり、普及なくして強化はないと考えている。陸上競技の面白さを理解し、生徒に伝えるのは指導者役割であり、指導者なくして選手は育たない。熱意のある指導者をいかに増やしていくかが今後の課題になると考える。その為にも高体連と陸上競技協会が連携を深めて、指導者育成並びに選手の獲得に努力し、強化につなげていきたいと考えている。